

GRASS ROOTSに 名を刻め！

— RESPECTから始める冒険 —

その123 (R06.02.21)

～ 学校評価のアンケート結果 その2～

【業務改善】

目 標 「業務の効率化を図ることで、時間外勤務の削減をしている」と答える教員が80%以上である。

改善策 ○ICTの効果的活用、業務の重点化や会議の効率化により、業務の改善を図る。

実 施 ☆チーム担任による授業交換や合同授業を実施した。
☆留守番電話の導入により、勤務時間外の電話対応を減らした。
☆職員室黒板のICT化により、業務の効率化を図った。
☆「楽メ」アプリの活用により、学校からの通知を配信したり、保護者が欠席連絡をしたりできるようにした。
☆学校だよりについては、「各家庭への配付」を「本校ホームページへの掲載」に変更することにより、印刷や配付の時間削減に努めた。
☆県立女子大や地域の方による学習ボランティアを募集し、子供の学びを保障することができた。
☆教員業務支援員やスクールサポートスタッフを有効活用できた。

この項目の数値が一番低く、本校の大きな課題と言えます。おそらく、本校だけでなく全国の公立小学校の大きな課題です。

今まで、「子供のためになるなら」という気持ちで、長い間、頑張ってきた教員が多いと思います。その気持ちはとても大切であると思いますが、自分たちだけの問題ではなくなってきました。

それは、「教員不足」という日本全体の課題です。やりがいとはとてもありますが、長年、教員をしてきた人は、自分や家族の時間を犠牲にしてきました。

若い世代の人は「自分の時間を大切にしたい!」、「ゆとりをもって人生を送りたい!」という当たり前の気持ちを大切にしています。このようなことから、勤務時間が長く、サービス残業が多い仕事は遠慮する傾向にあります。

本校でも、業務の重点化を図って、時間外勤務を削減していきます。ときには、「今までの方がよかった。」と思われることもあるかもしれませんが、何卒、御理解・御協力をお願いいたします。

～ 学校評価の質問にお答えします その2～

学校評価のアンケートにおいて、いくつか意見がありましたのでお答えします。

保護者の皆様には、本校の教育活動に対して御理解・御協力をしていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

質問の文章は、原文のままではありません。ご承知おき下さい。

Q 1	担任への連絡や質問など、連絡帳や電話でなくICT媒体を使ってやりとりできるとよいと思います。
A 1	「児童生徒や保護者と個人的なメールでのやりとりは絶対にしない。」という原則があります。 また、個別でメールの送受信をすることで、教職員の勤務時間という概念がなくなってしまう可能性があります。 参考までに、芝根小学校【県費教職員】の勤務時間は、午前8時15分から午後4時45分となっております。

Q 2	3年生から教室の階数が上がるため、子供と先生とのコミュニケーションがとりにくくなると心配しております。
A 2	「2階に上がった」というより「35人学級」という理由で1学級になり、今までのようにコミュニケーションがとれない可能性はあります。できる限りの努力はしますが、心配なときは遠慮なく連絡して下さい。

Q 3	和式から洋式へのトイレ改修を望みます。
A 3	予算の関係で、すべての要望を叶えることは難しいです。変更したいことはたくさんありますが、簡単に改修できるわけではありません。 しかし、令和6・7年度で、芝根小のトイレ改修を予定しています。詳細につきましては、令和6年度の実施計画ができてからお知らせします。

Q 4	水泳記録会や陸上記録会の参加希望の有無は、意味がないと思いました。
A 4	丁寧な説明ができなくて申し訳ありませんでした。来年度は、希望者を募って参加する形にしたいと思います。